



1

平成26年11月29日(土)  
第四回熊本大学・関西連合同窓会  
於:太閤閣

### 祝: 第四回関西連合同窓会

### 100年後も輝く世界の熊本大学を目指して



熊本大学長  
谷口 功



## Kumamoto University

著名教授陣

2016年: 漱石来熊120年

3



嘉納 治五郎  
講道館柔術を創始。  
第三代第五高等中  
学校長。  
在任: 1891/8~1893/1



ラフカディオ・ハーン  
小泉八雲として知ら  
れる英国人。英語と  
ラテン語の教師。  
在任: 1891-1894

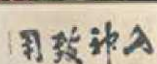


夏目 漱石  
明治29年五高教授。  
「草枕」等を執筆。  
在任: 1896-1900



1887年(明治20年)設置  
本科/予科

多くの偉人が集った。伝統の赤煉瓦。



入神致用(勝 海舟)

市民の熱意と協力のできた  
著名な卒業生

熊本から  
多くの人材を輩出

大正9年(1920)まで9月入学



寺田 寛孝  
物理学者・随筆家。五高  
で漱石に師事。東大教授。  
独特の写生文や科学随筆  
で知られる。

夏目漱石: 三四郎  
「学年は、9月11日に始まった。――」



佐藤 栄作  
政治家・首相。昭和47年  
沖縄返還を実現。  
ノーベル平和賞を受賞。

## H25・26年度理事・副学長

2

理事長・学長 谷口 功 (工)(総括) (任期: 平成27年3月末まで)

理事・副学長 山中 至 (法)(教育・学生支援、就職、教育改革、  
附属学校園、同窓会)

理事・副学長 原田信志 (医)(研究・社会連携、基金) →次期学長

理事・副学長 両角光男 (工)(人事・労務、企画、組織、安全衛生、  
情報ガバナンス、広報)

理事・副学長 安部眞一 (理)(評価、目標・計画、個人評価、  
入試、高大連携担当)

理事 倉田 裕 (事務)(財務・施設、事務改革、コンプライアンス、危機管理)

理事 野口敏夫 (弁護士)(法務)

副学長 伊原博隆 (自然)(国際交流)

副学長 山縣ゆり子(薬)(男女共同参画)

副学長 谷原秀信(医・附属病院)(附属病院長、病院経営)

学長特別補佐 各副学長担当課題に1~2名づつ配置

さらに、IR (Institutional Research: 情報分析・運営戦略形成) 関係に4名 配置

4つの重要文化財をキャンパスに持つ

### 熊本大学の歴史的な建造物(文化財)

4

国指定重要文化財

活用される文化財:  
Ex. 坂の上の雲



工学部研究資料館  
機械遺産に認定済



五高記念館

日本化学会  
「化学遺産」認定  
文化庁の  
「活用保存文化財」指定  
設計: 文部技官 山口半六  
・久留正道

化学実験場  
(1889年: 明治22年竣工)



### 学長特別講義

H26年度: 新入生1859  
人を18回に分けて実施

歴史的な施設を活用して、  
人財を輩出し続ける



赤門

化学遺産認定書



在学生、卒業生、職員、市民の皆様が、  
誇れる大学であり、社会の値れの存在として、  
地域に根ざしてグローバルに展開する  
未来志向の研究拠点大学



再春館（医学校）（1756）

第五高等学校（1887）

再春館から258年余、五高から127年の  
歴史と伝統を誇る熊本大学

新制熊本大学（1949）

第五高等学校、熊本医科大学、  
熊本薬学専門学校、  
熊本師範学校、熊本青年師範学校、  
熊本工業専門学校などを統合

=>研究大学認定(2013)

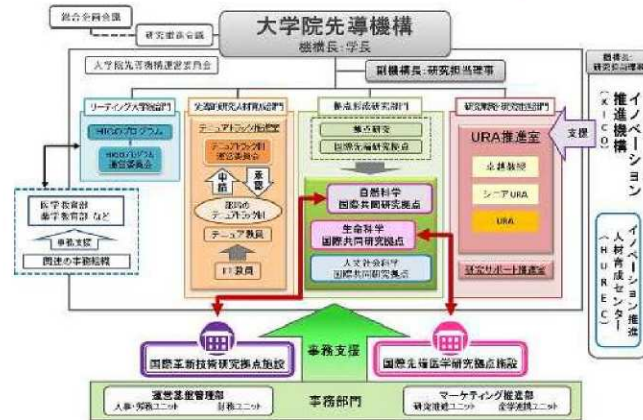
学長の4つの約束

- 1 教育力の強化：  
国際社会で活躍できる  
社会の「人財」の育成
- 2 研究力のアップ  
人や社会を幸せにできる研究
- 3 社会貢献の推進  
学生が輝くまち、くまもと
- 4 国際化の推進  
国際交流を強化

4 キャンパス：7 学部、8 大学院、18 研究所・研究センター  
年間予算規模 約520億円（平成26年度）  
外部資金 約63億円（科研費・厚生科研 29億円/  
寄附金 18億円／共同研究・受託研究等 16億円）  
学生数：10,214（学部：8075/大学院学生：2,139）  
教員：1,005  
職員：1,607（附属病院を含む）（2013.5現在）  
留学生 ~500（通年800人）（約50カ国から）  
卒業生：>120,000

文部科学省「研究大学強化促進事業」

研究拠点大学（支援対象機関）に採択（RU-22）



研究力の強化（世界で戦える Research Universityに）

=> 国際先端研究拠点の整備（国際先端医学研究拠点／国際革新技术研究拠点）

本学の現在の姿

本学は我が国を代表する  
研究拠点大学

熊本大学の最近の研究活動例  
しっかりした研究基盤に基づく高度で質の高い教育を保証

さらに、続いて

スパークグローバル大学（SGU）；  
COC（Center of Community）など

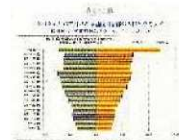
我が国の基幹大学に対する支援事業の全てを獲得

しっかりと、国際的に通用する大学に向けて努力する

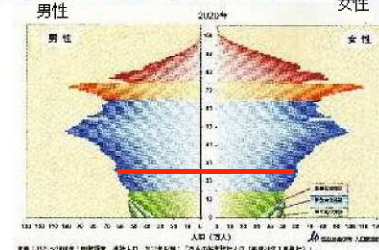
直面している我が国の課題：

少子化／社会のグローバル化

- 1) 労働人口の減少
- 2) 一人当たりGDPの順位の低下（経済の停滞）
- 3) 世界との断絶（海外留学生の減少）など



熊本県：2035年



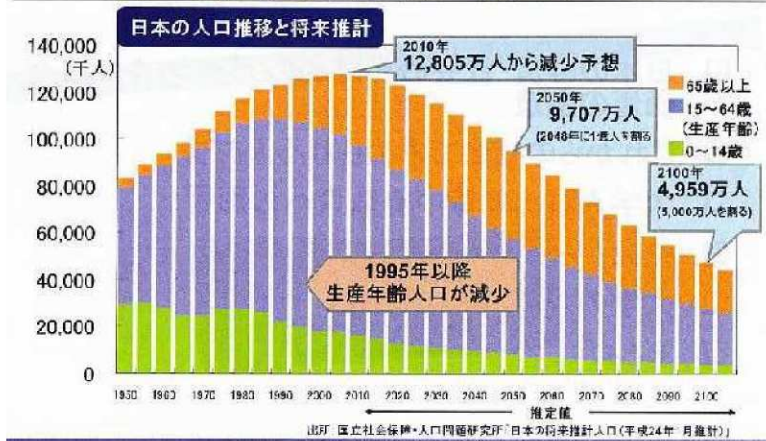
我が国の人口ピラミッド（2020年）

我が国の発展を支えた世代

=> 人口構成から  
次の時代を  
考える必要

## 人口減少社会の到来：出生率 1.41

9



## 国際化(グローバル化)時代・社会

国際化することは、我が国の良さを際立たせること!

11

これからの我が国：世界が憧れる国／

国際社会で存在感のある国!

==> 国際社会と連携して活躍できる(社会変革を担う)人「財」が必要

(文化的・社会的・人間的にも世界の一流国に)

==> 若者(将来の日本を担う者)の国際化が必至

日本人を元気に／留学生の教育(世界貢献・我が国の安全保障)

==> 人を通して、世界と繋がったそれぞれの地域の実現が必要

本学の取り組み:

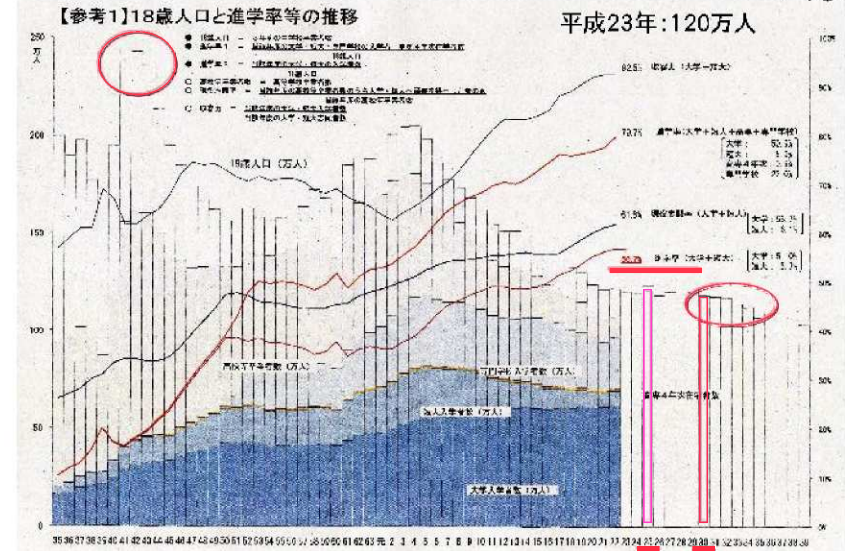
==>トビタテ留学JAPAN 8名選出(323人中) 今後も挑戦し続ける!!

==>文科省・「スーパーグローバル大学創成支援プログラム」事業への挑戦(Type B 採択) (SGU: 37 大学が選定)

S41年: 250万人

18歳人口を考慮することの重要性

10



## スーパーグローバル大学創成支援事業 12

構想名 地域と世界をつなぐグローバル大学Kumamoto  
(A Leading University Cultivating Global Leaders from Kumamoto)

世界に開かれた グローバル大学

国際標準化された、互換性とモビリティを約束する教育システムの導入

地域の国際化を先導する グローバル大学

地域人材・文系人材・女性の活躍を促進し、技術立地を支えるイノベーションの創出

国際競争力を誇る グローバル大学

熊本大学の強みを核とする最先端研究教育プログラムへの投資



大学改革実行プラン(国立大学への大きな期待) 13

背景: 大学の役割が問われている

(我が国の将来: 少子化とグローバル化に対応する必要がある)

==> 社会の変革のエンジンとなる大学としての期待  
 ミッション再定義: 各国立大学の存在意義の明確化

- ・各部署の特長の明確化 => 強みの強化 しか、一方で、
- ・大学としての特長の強化 => 全学的な視点からの強化
- 方向性: 大学の機能の強化と再構築(国立大学の存在意義を再考)
- 迅速で、実感できる(目に見える)取り組みが求められている

改革加速期間: 平成25、26、27年度

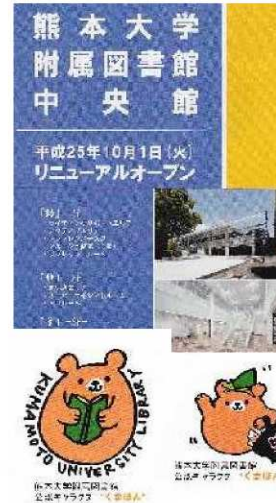
国立大学存在基盤となる役割を明確に => 大学の将来の姿の選択が必要  
 特に問われていること: 教育のグローバル化/入試を含めた教育の質保証  
 大学の機能分化: 国際的研究大学/全国拠点型大学/地域拠点型に分類  
 (全国拠点型は、将来に再編・統合が有り得る)

教育の質の転換=学習から学修へ= 14

図書館 動/静/蓄の空間

質の高いリベラルアーツと専門教育

能動的な学修: Active learning  
 (グローバル人材/リーダー人材の素養)



法人ガバナンス: 国立大学法人法/学校教育法の改訂 15

・大学の運営体制(予算/人事/学長選考/学長補佐/監事)

==> 基本的に学長権限を確立(最高責任者)

教学・経営

役員会機能: 教育理念と経営(人事・予算)

学長選考(選考会議; 学長の職務を監督)

監事の役割・機能強化と

・学内組織の運営・連携体制の整備

部局等の運営体制(部局長=>役員会で最終選考・指名)

部局教授会の役割: 部局の教学関係の審議/

人事: 資格審査・選考評価・推薦意見(人事権は、最終的に学長に)

・評議会・役員会機能: 評議会は審議機関(意見聴取)(決定は、役員会)

熊大歌留多読み札 16



対応するイラストを募集 => 歌留多として完成させる

## 大学機能の進化・強化: 将来への展望

17

### 地域の大学の機能: 熊本(地域)から世界へ

地域・(我が国・国際)社会の活性化を担う大学の役割

地域の大学の存在意義: 多くのリーダー人材を育成/

大学自体が(地域)経済への大きな影響を持つ

地域・社会の活性化・将来を多面的に担っている

(産業の振興/質の高い社会(人)教育)

地域から世界へ / 地域とともに、将来社会をデザインする

我が国と世界: **世界と繋がることの大切さ(国際連携)**

**特に、教育の国際化(cf. 研究の国際化は当然)**

**シンクタンク機能/オピニオンリーダー/コーディネート機能**  
**地域を世界に繋ぐ機能**

=> これらを責任を持って担うために、  
自律的で多様な大学機能の進化・強化が必要

## 大学の支援者(ステークホルダー)との連携

18

連携: 国/教職員/学生/保護者 との連携

他にも、高校生/社会人/留学生;小・中・高等学校;国内外の社会・大学  
地域の産業界/企業;地域住民/NPOなど;県・市・町村 等との連携も必要

- 1) 同窓会との連携  
東京/関西連合同窓会(東京/関西オフィス)/九州連合同窓会設立
- 2) 高校との連携  
理事・副学長に高大連携担当を明記(近い将来、入試が変わる可能性)
- 3) 地域社会との連携  
都市戦略会議/高等教育コンソシアムの強化/地域医療の高度化 など
- 4) 保護者・市民の皆様との連携
  - i) 入学式における保護者の皆様との懇談会
  - ii) 附属学校を介した保護者の皆様との連携
  - iii) 大学の日常的な教育・研究活動/イベントを介した保護者・市民の皆様との連携の強化 など

==> 日常業務・生活で出会うすべての支援者との連携/  
加えて、我が国の寄附税制の改善にも取り組んでいる!!

19

現在の本学のコミュニケーションワード(熊本大学のスピリッツ)



かつて本学に在籍された井上雄彦氏に揮毫いただきました

JR熊本駅新幹線ホーム/阿蘇くまもと空港/東京駅八重洲口 等に掲示

学生を元気にする!! 部活動の振興も

(例: 硬式野球部(東大と)/陸上部(熊本城マラソン)/

漕艇部(国体優勝)/ダイビング部(全国優勝)/チアリーディング etc)

## ご清聴ありがとうございました

20

在学生/卒業生/教職員/保護者・市民の皆様 の誇りであり、  
(世界から)憧れていただけの大学 へ

**本学の将来ビジョン**

**生命系/自然系/人文社会系を有する地方総合大学として、**

**先鋭部分の強化と基礎のバランスのとれた**

**『総合研究拠点大学』!**

・ユニークな先端研究・教育で世界に存在感を示す憧れの大学

・社会と連携して社会の改革を牽引する大学

そして、「五高」の精神を受け継ぎ

人間力豊かで

国際社会に貢献する多様な人「財」を輩出し続けます

未来社会を創る大学の役割は極めて大きい

100年後も輝き世界に羽ばたく熊本大学として、

**輝く将来に向けて一層努力します!!**